

総務常任委員会記録

平成30年9月14日(金)午後1時31分～午後1時53分(9階909会議室)

○出席委員(8名)

委員長	小松 良行	副委員長	阿部 亨
委員	萩原 太郎	委員	羽田 房男
委員	小野 京子	委員	土田 聡
委員	粕谷 悦功	委員	宍戸 一照

○欠席委員(なし)

○議題

所管事務調査「広報政策に関する調査」

1. 行政視察について
2. その他

午後1時31分 開 会

(小松良行委員長)引き続き、所管事務調査についてを議題としたいと思います。
資料を配付いただきますので、ごらんいただきたいと思います。

【資料配付】

(小松良行委員長)では初めに、行政視察についてを議題といたします。

正副委員長手元で視察先についての案を作成いたしましたので、ご説明をさせていただきたいと思っています。

まず、日程については前回お示ししたとおり、11月7日水曜日から9日金曜日までの3日間となります。

視察先ではありますが、初日は愛知県岡崎市を視察させていただきます。岡崎市では本市と同じように中核市であります。そして、シティープロモーション事業に積極的に取り組んでおると。担当部署は、本市同様、広報課となっているところです。シティープロモーション事業に関しては、平成26年3月にシティープロモーション戦略を策定しておいて、現在は第2期アクションプランに基づき事業に取り組んでいるところのようです。第2期アクションプランの中では、シティープロモーションをめぐる現状と課題として、岡崎市の現状やそれ以前のプロモーションについて市民のアンケート結果等も記載されておりまして、シティープロモーションを進めていく上での課題等も聞くことができる

のではないかと思います。また、本市同様、広報課がシティープロモーション担当であるため、可能な範囲で、そのほかの広報に関しても、当局説明で出た課題などについて伺えればと考えていたところでした。

次に、東京都杉並区でございますけれども、こちらは総務部広報課が行っている事業として生活広報について、先進的な取り組みを視察してまいりたいと考えました。杉並区では、平成29年5月に広報戦略を策定しており、戦略の対象として、広報紙などの広報課が行う広報だけではなくて、ほかの課が作成する納税通知書など、区民の各種通知書までも対象としているようでございます。また、平成28年4月より、民間のデザインコンサルタント等が本業の専門家を広報専門監として委嘱をしております。広報戦略の策定や、広報課のみならず全庁的な広報の改善に向けて取り組んでいると聞き及ぶところでございます。さらに、重点広報活動として全庁的に、重点的に広報すべき事業を選定して、重要施策の一体的な、また効果的な広報を行うなど、先進的な取り組みを行っているようであります。

裏面に行きまして、八王子市でございますけれども、都市戦略部都市戦略課によりシティープロモーションの取り組みについての視察ということになるかと思いますが、八王子市は広報担当課ではなく、都市戦略課という部署、福島市における政策調整課のような部署であろうかと思いますが、シティープロモーションを担当しているようです。平成27年にはシティープロモーションの基本方針を策定しており、市内に多く大学があることなど、こういった特性を分析して、ターゲットを若年層と学生に絞ってプロモーション事業を行っているようです。また、シティープロモーション基本方針を策定するまでに、公募の市民等による懇談会などを開催するなどして、十分な検討を重ねております。以上のように、広報担当課だけでなく、市の戦略を担う部署において、市の特性などを分析し、ターゲットを明確にしてプロモーションに取り組んでいる事例として、何をしているかではなく、なぜ、何を目的として行っているのかといった視点で、シティープロモーション事業について視察を行ってはどうかかなと考えたところであります。

なお、行程の都合上、この2日目、午前中に岡崎市、杉並の間で、もしかするともう一カ所ぐらい視察をしたいと考えておりますけれども、現時点ではまだ未定となっておりますので、調整が整い次第、またこちらについてもお諮りしたいとは思っておりますが、今現在はこの3カ所ということになっております。

正副委員長といたしましてはこのような行程で視察いたしたいと考えて、それぞれ先方に打診したところ、このような1、2、3という日程で受け入れ可能とのことであります。

現時点での視察先や視察項目について、このような形でどうか、委員の皆様方のご意見を伺いたいと思っております。

それでは、皆様のほうからご意見などございましたらお述べいただきたいと思っております。

(萩原太郎委員) 視察先とか内容については、正副委員長に大変お骨折りをいただいたというふうに

思っております。要望といいますか、できれば、参考人招致したときに広報のほうでも大変勉強して、これを私たちのほうで見て、いろんな部分勉強するのはいいのですが、できれば当局からも1人参加していただくというようなことでやれば、なおいいのかなというふうな思いではあるのですが、現実的にはそういうようなことは可能なのでしょうか。

(小松良行委員長) まだ初めて委員の皆さんから伺ったお話ですし、今後、そうした委員からの要望もあるがという点で、当局に確認というか、お話しすることはやぶさかではないのかなというふうに思っておりますが。

(土田 聡委員) 昔、常任委員会の視察に部長がくっついていました。でも、それやめようというふうになった。そういう経過があって、やめていたのを1回復活するということは、余りよろしくないというか、別に当局は当局で視察行っているから。それが議員と当局が一緒になって、例えば飲み会もやるわけだ。それが一緒になって飲み会やるとなったら、市民から見ておかしな話だというのは言われるから、それはやめたほうがいいと思います。

(小松良行委員長) そうしたご意見もありました。

(萩原太郎委員) 福島市にも視察に来るというふうな場合に、内容を見てみますと、やっぱり事務方だけでなく、当局のほうでも来るというふうな事例もあるものですから、福島はそういう過去の事例は私はわかりませんでしたけれども、中にはそういうところもあるので、これがまた効果的なのかなというふうな思いもありました。

(粕谷悦功委員) 当局が常に委員会の、部長とか、そういうのが視察にも同行していたという経過は、議会側から要請もかけていたのだけれども、中止した背景には、議員からそういう要請かけられると、当局行きたくもないのに行かざるを得ないでしょうということの内容があったのだ。だから、そんなの行ってもらわなくていいのではないのということになったの。しかし、委員会で、これはやっぱり当局も見る必要あるのではないかということの内容の場合には、要請書を出して、あと当局で行くか行かないか判断して、行きたいと言ったときには同行してもらっていいよと、こういうことの内容になっているのだわ。だから、行かなくなった背景と、その後の取り扱いとしては、委員会が求めて、文書を出して、それで行ってくれるという場合には、それは行ってもらってもいいよということの内容になっているのだよ。そうでしょう。

(羽田房男委員) 粕谷委員、ちょっとお聞きしたいのは、それは先ほどおっしゃった部長ではなくて、課長とか係長とか、そういう担当課長とか係長クラスの人が随行して行って、一緒に勉強してくるという意味でおっしゃったと思うのです。

(粕谷悦功委員) いや、だからそれはちゃんと委員会です承して、それで要請して、どうですかということで、わかりましたということであれば、それで来てもらっていいわけだ。

(宍戸一照委員) 震災の後の私が委員長やっていたときの常任委員会、経済民生常任委員会で再生可能エネルギーの調査をするときには、まさに今粕谷さんがおっしゃったようなことで、当局に対して、

環境部に対して同行を求めて、あのときは環境部長が同行して、小水力発電と太陽光発電の視察を同行したという、そういう経過があるのね。そのときは、委員の皆様から、同行して、やはり一緒に調査をしたらいいのではないかということで、山梨県と長野県と一緒にいった経過がございます。ですから、今粕谷さんがおっしゃったように、こちらのほうで一緒に行って、調査研究一緒にして、共通のあれを持つならばどうだというふうな提案をして、当局が判断をすればいいだけのことなので。だから、これからいろいろと視察地の最終候補も決まってくれば、その中で協議をすればいいのではないのかなというふうに。ただ、共通の話題を持つ必要性はあるのではないのということで、行っていただきました、あのときには。

(小松良行委員長) どうでしょう。正式な文書を出す前に、とりあえずこういった意見が結構出ていましたよと、向こうでも乗り気であれば、再度私どものほうでその要請をする、しないを一応お諮りをして、それで出すというふうなことで、あとは当局の判断ということになるかと思いますが、大方皆さんそういったことで、認識は、先様というのですか、当局のほうがぜひ参加したいということであれば、本当にやぶさかでないなという思いもするのですが、土田さん、大丈夫ですか。いいですか、そういった場合は。

(土田 聡委員) いや、私、反対だから。

(小松良行委員長) だめ。

(土田 聡委員) うん。

(粕谷悦功委員) だけれども、決まったときの経過というのはそういう経過だからね。そこの理解をしないとだめだから。決めたときの経過はそうだ。

(土田 聡委員) 経過はね。

(小松良行委員長) では、その件についてはちょっとこちらに置いておいて、まず皆さんにお願いしておりますところの行程及び視察内容について。

(宍戸一照委員) 先ほど委員長のほうから杉並と八王子、あと岡崎ということで、もう一つぐらいというふうな、日程を組み合わせてというふうな話もございましたけれども、1つ思うところとしては、ここに載っている杉並区と八王子市というのは人口規模が60万近い、50万以上で大きいと。岡崎市が比較的近いということなのだけれども、それで都市部で、杉並という場所柄、あと八王子という場所柄から考えると、なかなか福島市の状況としてどうなのかということを見ると、私はもう少し地方都市の先進的な取り組みをしているところは、事務局さんせつかく、委員長をはじめとして、選んでいただいたのだけれども、そういうところを加えていただければ、もうちょっと身近な問題として調査ができるのではないのかなと。確かに杉並区については広報監なんていう専門家を取り入れて、トータル的な、統一的な、一体的な広報という、これ今回も話題になっている項目だし、魅力的な項目だしというふうな部分で、いろいろと調査をするに対してご苦労はあって、いろいろと調査をしていただいたことは可とするところでありましてけれどもというところで。

(小松良行委員長) 2泊3日で3カ所というと、何か、それで十分かなというふうにも思ったりするのですが、例えば今宍戸委員がおっしゃられた意見もごもっともであろうし、あとこれ意外と行程にゆとりがあるのも事実なのです。そういうこともあり、充実した視察研修ということであれば、少し考慮してもいいのかなという思いもありまして、ただ現時点では先様の都合ということで確認がとれているのがこの3カ所ということでありまして、なおもうちょっと時間をいただいて、先ほど宍戸委員からあった要望などに合致するようなところ、またこのほかにも目新しい取り組みなど、先進的なことをしている地区があれば、加えていくことも視野に、もうちょっとお預かりさせて、とりあえずこの3件は現時点では先様のご了解もいただいているというところですので、この3つについてはよろしゅうございますか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、そのように視察を行うこととさせていただきたいと思います。

また、今申し上げましたけれども、追加の視察先などが提案をさせていただく機会ももしかしたらあるかと思いますが、行程などについて、ですからまだきっちり、いつこれを見て、いつこれを見てとかというようなことでは、調整がつき次第、改めてお諮りしたいと思っています。

では、次の議題としまして、9月定例会議終了後の視察や参考人招致についてを協議するための次の委員会の開催日程を確保させていただければというふうに思っておるのですが、皆様、手帳などお持ちでありましたら開いていただきますと、非常に日程が窮屈でございます、今事務方と確認したところ、あいているところが10月の9日なのですが、皆さんちょっとお開きいただいて、10月9日、午前か午後か、どちらかでやればありがたいと思っておるのです。特になければ、皆さんから9日の日大丈夫ですよということであれば、午前10時からというふうに思っておりましたが。

(粕谷悦功委員) 午後がいいのだけれども。

(小松良行委員長) 午前中入っているということであれば言ってください。午前中都合が。

(粕谷悦功委員) 午前中だめなのだな。2時なら大丈夫だと思う。

(小松良行委員長) 2時でいいですか。14時。

皆様よろしければ、9日14時開会とさせていただければと思いますが、それでよろしゅうございますか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) 10月9日火曜日午後2時からというふうにしたいと思います。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか、皆様から何かございますでしょうか。

(羽田房男委員) 確認でよろしいでしょうか。参考人招致、16、17、18を予定、大体どの辺にお決まりになりそうですか。

(小松良行委員長) 実はこれもお話ししておいたほうがよろしいかなと思ったのですが、実はいわゆる大学の先生や、あるいはそういう方よりも、民間の放送に携わる人などもどうだといった意見で、

両面で今講師を招聘すべく当たっております。しかしながら、大学の先生で、福島大学、いい方がおいでだったのですが、個人のことなので、あれですが、何かけがを患われたらしく、ちょっと復帰のめどが立たないということから、ちょっと今それで難航しているところですが、あと一方、いわゆる放送関係、マスコミ関係のほうで今調整を図っているところで、ただ先様のほうの日程調整が今のところまだ情報として入ってきておらないことから、今後また鋭意その日程調整に努めてまいり、ですからあの予定はちょっと動かさないで、とっておいていただけないものかと思いました。

できればこの9日の日に、ばしっと決まって、あとは追加するかしないかわからないですけども、こういったものをそろって皆様にお諮りできるような環境整備にこれから今努めてまいりたいと思ひまして、ちょっとその点ご理解をいただければと。

(羽田房男委員) 承知しました。

(小松良行委員長) ほかに何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) それでは、以上で総務常任委員会を終了いたします。ありがとうございました。お疲れさまでした。

午後 1 時53分 散 会

総務常任委員長 小松 良行